

事業所名

キッズサポートリマ（重心多機能 児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念		「墨田区を障害福祉先進国区となるように、先導する」というスローガンを掲げ地域社会に貢献する。 「必要な支援は作り出す」という考え方を取り入れ障がいを抱える方々がより自立して豊かな生活を送れるように支援することを目的とする。						
支援方針		子どもたちや保護者の皆様へ寄り添いながら悩みを共有し解決へ繋げる、共に喜び、共に歩んでいく。 個々の成長・発達、特性に合わせながら活動や遊び、身体を取り組み・リハビリテーションを取り入れた個別支援計画に沿って支援を提供する。 専門的な多職種、地域、行政、相談事業所、ボランティア団体と連携を図りながら、より良い支援ができるよう向上を目指す。						
営業時間		月～金 土祝・休業日	10 9 時	00 30 分から	17 16 時	30 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人 支 援	健康・生活	体調を維持し学校、通所に予定通りに通学できるように保護者、かかりつけ医、他事業所との情報共有を行う。 学校や保護者様からの申し送りや伝達を共有し、日々の様子を観察し、心身ともに安定した生活を送れるような環境を提供する。 生活リズム、食事、排泄等の様子を把握し安全に医療的ケア、支援を行う。						
	運動・感覚	OTPTによる専門的知識の元、児の発達成長に合わせたリハビリ計画を立て、提供する。 感覚入力から身体に働きかける為、マッサージ、体操、感触遊びや音楽遊び等を取り入れた活動を行う。 活動を通していろいろな刺激の経験を重ね好きな遊びをみつけられるようにする。 散歩をして季節の風や匂い、音に触れ楽しめるようにする。						
	認知・行動	成長過程に合わせ1日のスケジュールや季節の変化を感じることができるようサポートする。 自らの意思表示を増やし、表現の場を設ける事で、興味関心や考える力、適切な行動を学んでいく。 成功体験を得て、成長に繋げる為のサポートを行う。						
	言語 コミュニケーション	個々の意思疎通の手段を模索し、子どもの「伝わった」という成功体験を重ね人と関わる楽しさや喜びを感じられるよう関わる。 本人の気持ちを汲み取りながら、子どもの表情や行動からのサインを見逃さず、今の気持ちに寄り添えるよう支援する。 混乱しても傾聴、受け入れることで自分の気持ちを表現し、他者に伝える力を身に付け、穏やかに過ごせるよう関わる。						
	人間関係 社会性	職員、他児と一緒に活動をしたり体験をすることで集団の中で一体感を感じられるよう活動を工夫する。 地域での行事への参加、散歩中の挨拶等で保護者や施設職員以外の大人と関わり社会性を育めるよう活動を行う。						
家族支援		送迎時の申し送り、コミュニケーションを大切にし常に必要な情報提供、支援がなにか、個別支援計画が保護者の意向と相違がないかを確認する。相談員、他事業所と連携し一貫した支援が提供できるよう協力する。				移行支援		学校担任との情報共有を行い進学・進級へ安心して通学できるよう支援しています。 卒後の意向について情報共有を行い、生活介護等、相談事業所と連携し必要な情報提供、ご相談ができるよう支援しています。
地域支援・地域連携		行政の会議、研修に参加する。 町会、近隣の医療機関や公共施設への定期的な挨拶や災害時等の協力依頼をする。				職員の質の向上		緊急時における対応、非常時災害対応、虐待防止への認識確認、感染症予防及びまん延の防止への対策、身体拘束の禁止対策、喀痰吸引研修(3号・2号研修)等のキャリアアップへの助成
主な行事等		季節の行事(お誕生日会・お花見・七夕・夏祭り・水遊び・紅葉散歩・クリスマス・初詣) 読み聞かせ、音楽会等、ボランティア団体等の外部の団体との交流						